

令和8年度 第2回 初生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年9月17日（木）14時00分から15時45分まで
- 2 開催場所 初生小学校 調べ学習室
- 3 出席委員 山崎 晋司、柴田 宏祐、上乘 菜穂子、辻村 拓磨、大野木 龍太郎、有友 真貴、岩出 綾子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 夏目 聖（三方原協働センター主幹）
- 6 学 校 井口 幸英（校長）、徳増 弘宣（教頭）、高林 美奈（主幹）、田中 由紀子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 教育委員会
- 9 会議録作成者 CSディレクター 田中 由紀子
- 10 前回議事録確認
- 11 議長の選出
前回の協議会において、議長の選出について委員に意見を求めたところ、辻村副会長から議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
 - (1) 授業参観を受けて
 - (2) いじめアンケート、学校関係者評価を受けて
- 13 会議記録
司会の高林から、委員総数7人のうち7人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。

(1) 授業参観を受けて

議長の指示により、委員からは以下の発言があった。

- ・6年生のあるクラスは自習中で、修学旅行の話し合いをしていたためか、声が大きく、隣のクラスへ影響していた。見学に行く所をタブレットで検索をしていた。習字をしていたクラスは、黙想した後、集中して書いていた。（山崎会長）
- ・夏休みに地域の寺子屋のボランティアをしたが、そこで接した子どもが自分を見つけ、反応してくれたのがうれしかった。（有友委員）
- ・教室が少し暑く、午後になって集中出来ないような所も見受けられたが、それぞれがんばって授業を受けていた。（柴田委員）
- ・高学年になるにつれて授業に落ち着きが見られた。同じ学年の先生により、授業の進め方や、まとめ方に差を感じた。どの階の廊下も、鍵盤ハーモニカやヘルメットなど整理整頓されていた。（上乘委員）

(2) いじめアンケート、学校関係者評価を受けて

① いじめアンケートを受けて

議長の指示により、生徒指導清水から資料に基づき説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ 学校外（SNS等）のいじめも集計に入るのか。SNS等でのトラブルは家庭間で対処しないといけないと思う。（上乘委員）
- ・ 寺子屋のボランティアで感じたが、子供同士の言葉遣いが悪い。学校での関係のまま来てるのが気になる。傷ついた子の気持ちを知らってもらう指導は難しいと思う。（有友委員）
- ・ いじめの発見のきっかけが、アンケートや調査で気付くことが多く、学級担任の発見が少ないことに驚いた。発見できないのは、先生が忙し過ぎて、気付く余裕が無いのか、クラスの児童数が多すぎるのか理由が気になった。（大野木委員）
- ・ タブレットを使ったアンケートで把握できることはよいことだと思う。（山崎委員）
- ・ いじめられた児童の相談できる窓口は限られていると感じた。担任や保護者以外の相談ツールを増やしてあげたい。（大野木委員）
- ・ いじめ対応について、学校の組織としてしっかり取り組んでいる。課題をこの協議会で報告をし、意見を出し合い、良い方向へ向かっていると思う。（柴田委員）

② 学校評価アンケートについて

議長の指示により、委員から以下の発言があった。

- ・ 設問7、8で「そう思わない」と回答した児童が一定数いる。その数を少なくできるとよい。（辻村委員）
- ・ 「そう思わない」という回答について、理由は追わないのか。（上乘委員）
- ・ 先生と子供の認識の差がある。（有友委員）
- ・ 設問14では、低学年と比べると、高学年の運動に取り組む割合が少ないことが分かる。（山崎委員）
- ・ 設問16では、「そう思う」「だいたいそう思う」が多く、子供たちは先生を信頼していることが分かる。（辻村委員）
- ・ アンケートは、どうしても子供たちにポジティブさを求める設問が多すぎる気がする。学校全体として、もう少し今を楽しめるような時間を作って欲しい。（大野木委員）

14 その他連絡事項等

- ・ 司会から、次回会議は、令和8年11月12日（木）午後2時00分から調べ学習室で開催することが確認された。
- ・ 司会から、次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、上乘委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。